

リコロニー

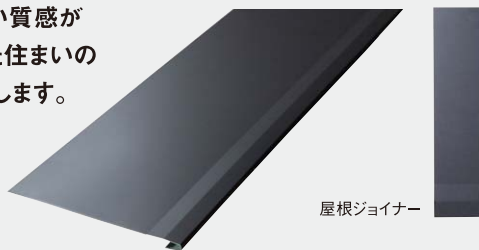


■ 本体



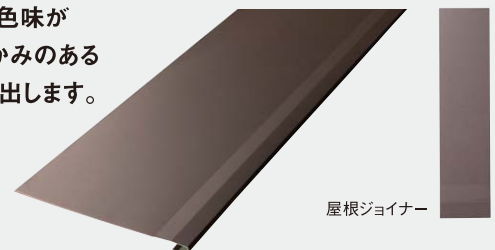
KMRC32S ブラック

金属の黒い質感が
引き締まった住まいの
表情を創出します。



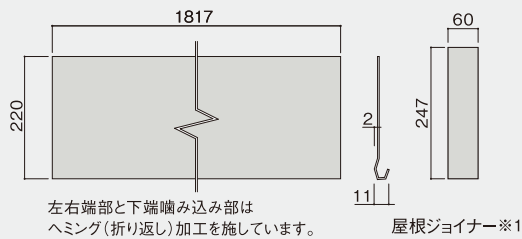
KMRC31S ブラウン

落ち着いた色味が
シックで温かみのある
外観を生み出します。



形状図 (単位:mm)

◎リコロニー本体 (約11mm厚)



※1 リコロニー本体/軒先用にそれぞれ同数の屋根ジョイナーを同梱しています。



仕様

一般名称	鋼板製屋根
適用地域※2	一般施工地域 ○
	積雪施工地域 ○
	施工不可地域 ×
材質	塗装GLめっき鋼板
本体価格	約27,280円(税抜 約24,800円)/坪
希望小売価格	約8,250円(税抜 約7,500円)/㎡ 2,728円(税抜 2,480円)/枚

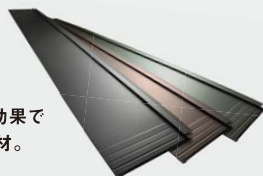
※2 リコロニーの適用地域はスマートメタルと異なります。詳しくはP.19をご参照ください。

働き寸法 (参考)	1,820mm×182mm	葺きあがり3.3㎡当たりの重量	約14kg
見かけ木口厚さ	約11mm	厚み	0.35mm
1枚の重量	約1.4kg	対応勾配	3寸以上
葺きあがり3.3㎡当たりの枚数	10枚	梱包入数	10枚

各種リフォーム工法に対応した商品を取り揃えております。

[重ね葺き・葺き替え] スマートメタル

厳しい気象条件でも優れた防錆効果で
美しさをキープし続ける金属屋根材。

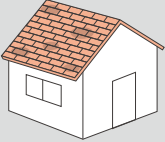
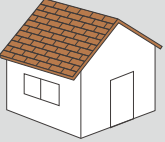
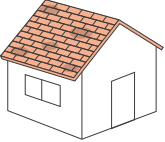
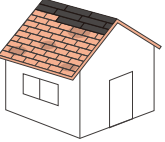
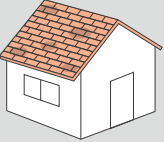
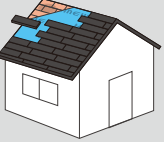
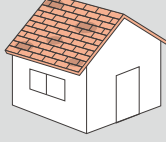
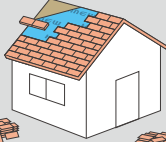


[塗り替え] リフレッシュコート

本来の美しい発色・光沢を修復する、
カラーベスト専用のリペイント塗料。



スレート屋根のリフォーム工法比較

	 塗り替え	 重ね貼り※1	 重ね葺き※1	 葺き替え
商品・材料	塗料	リコロニー	金属横葺き	カラーベスト
工法説明	●既存の屋根材の表面を再塗装する工法です。  1 既存の屋根材を洗浄・確認。  2 リペイント塗料で塗装し、完成。	●既存の屋根材の上に新しい屋根材を接着する工法です。  1 既存の屋根材を洗浄・確認。  2 新しい屋根材を接着して完成。	●既存の屋根材の上に新しい屋根材を施工する工法です。  1 既存の屋根材を調整。  2 新しい下葺材・屋根材を施工して、完成。	●既存の屋根材を撤去し、新しい屋根材を施工する工法です。  1 既存の屋根材を撤去。  2 下地を調整後、新しい下葺材・屋根材を施工して、完成。
仕上がり	△	○ イメージチェンジ	○ イメージチェンジ	△
下地修繕	—	—	—	◎ 劣化した下地を修繕
防水性	—	○ トリプル防水	◎ 下葺き材再施工	◎ 下葺き材再施工
耐風性	—	○	○	○
(表面塗膜の) 耐久性	△ 7～10年(一般的な塗料)	○ 10年～15年	○ 10～15年(一般的な銅板) (スマートメタルの場合:15～20年)	○ 10年程度 (ガラスの場合:30年 ◎)
遮熱性	— (遮熱塗料の場合:○)	○ JIS G 3322 5類	— (遮熱銅板の場合:○) (スマートメタルの場合:○)	— (遮熱ガラスの場合:○)
費用	◎	○	△	×
工期※2	△ 6～8日	○ 5日程度	○ 5日程度	△ 6～8日
廃材	○ 主に廃塗料	○ 主に施工廃材	○ 主に施工廃材	×
メリット	●費用が抑えられる	●金属ならではのシャープな仕上がりができる ●防水性・耐風性等の屋根機能が向上する ●重ね葺きや葺き替えに比べ、費用が抑えられる	●金属ならではのシャープな仕上がりができる ●新しい下葺材を施工できる ●防水性を改善できる	●屋根下地(野地板)の点検・修繕ができる ●新しい下葺材に交換できる ●防水性を改善できる
デメリット	●屋根下地(野地板)と下葺材の点検・修繕はできない ●防水性・耐風性等の屋根機能は向上しない	●屋根下地(野地板)と下葺材の点検・修繕はできない	●屋根下地(野地板)の点検・修繕はできない	●他のリフォーム工法と比べて、費用がかかる ●廃材が多く発生する

※4種比較での評価 ※1 重ね貼りや重ね葺きなど積載荷重が増えるリフォームの際は、耐震性などの構造耐力に問題がないことを事前に専門家にご確認ください。 ※2 積算資料ポケット版 リフォーム編2022(一般財団法人 経済調査会 出版)の算出例を参考にしています。